

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

5 英語

(1) 正答率

| 問題 | 配点 | 正答 | | 一部正答 | | 誤答 | | 無答 | | 通過率 率 = $\frac{\text{得点計}}{\text{人数} \times \text{配点}}$ (%) | |
|-----------|-----------|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|--|------|
| | | 数 | 率 (%) | 数 | 率 (%) | 数 | 率 (%) | 数 | 率 (%) | | |
| 1 | No. 1 | 2 | 221 | 73.9 | 0 | 0.0 | 78 | 26.1 | 0 | 0.0 | 73.9 |
| | No. 2 | 2 | 291 | 97.3 | 0 | 0.0 | 8 | 2.7 | 0 | 0.0 | 97.3 |
| | No. 3 | 2 | 237 | 79.3 | 0 | 0.0 | 62 | 20.7 | 0 | 0.0 | 79.3 |
| | No. 4 | 2 | 228 | 76.3 | 0 | 0.0 | 71 | 23.7 | 0 | 0.0 | 76.3 |
| | No. 5 | 2 | 228 | 76.3 | 0 | 0.0 | 71 | 23.7 | 0 | 0.0 | 76.3 |
| | No. 6 (1) | 3 | 184 | 61.5 | 0 | 0.0 | 115 | 38.5 | 0 | 0.0 | 61.5 |
| | No. 6 (2) | 3 | 148 | 49.5 | 0 | 0.0 | 151 | 50.5 | 0 | 0.0 | 49.5 |
| | No. 6 (3) | 3 | 166 | 55.5 | 0 | 0.0 | 132 | 44.1 | 1 | 0.3 | 55.5 |
| | No. 7 (1) | 3 | 130 | 43.5 | 9 | 3.0 | 127 | 42.5 | 33 | 11.0 | 45.3 |
| | No. 7 (2) | 3 | 140 | 46.8 | 23 | 7.7 | 108 | 36.1 | 28 | 9.4 | 50.8 |
| No. 7 (3) | 3 | 94 | 31.4 | 16 | 5.4 | 130 | 43.5 | 59 | 19.7 | 34.7 | |
| 2 | 問1 A | 3 | 214 | 71.6 | 2 | 0.7 | 55 | 18.4 | 28 | 9.4 | 72.0 |
| | 問1 B | 3 | 244 | 81.6 | 4 | 1.3 | 42 | 14.0 | 9 | 3.0 | 82.5 |
| | 問1 C | 3 | 35 | 11.7 | 2 | 0.7 | 213 | 71.2 | 49 | 16.4 | 11.9 |
| | 問2 D | 4 | 152 | 50.8 | 23 | 7.7 | 71 | 23.7 | 53 | 17.7 | 55.3 |
| | 問3 E | 4 | 43 | 14.4 | 135 | 45.2 | 70 | 23.4 | 51 | 17.1 | 35.8 |
| 3 | 問1 | 3 | 188 | 62.9 | 0 | 0.0 | 108 | 36.1 | 3 | 1.0 | 62.9 |
| | 問2 | 3 | 111 | 37.1 | 0 | 0.0 | 188 | 62.9 | 0 | 0.0 | 37.1 |
| | 問3 | 4 | 51 | 17.1 | 1 | 0.3 | 239 | 79.9 | 8 | 2.7 | 17.3 |
| | 問4 | 4 | 102 | 34.1 | 71 | 23.7 | 70 | 23.4 | 56 | 18.7 | 50.3 |
| | 問5 | 4 | 141 | 47.2 | 0 | 0.0 | 151 | 50.5 | 7 | 2.3 | 47.2 |
| 4 | 問1 | 4 | 124 | 41.5 | 82 | 27.4 | 59 | 19.7 | 34 | 11.4 | 59.5 |
| | 問2 | 4 | 87 | 29.1 | 1 | 0.3 | 200 | 66.9 | 11 | 3.7 | 29.3 |
| | 問3 | 4 | 195 | 65.2 | 0 | 0.0 | 101 | 33.8 | 3 | 1.0 | 65.2 |
| | 問4 | 3 | 145 | 48.5 | 0 | 0.0 | 151 | 50.5 | 3 | 1.0 | 48.5 |
| | 問5 | 3 | 270 | 90.3 | 0 | 0.0 | 28 | 9.4 | 1 | 0.3 | 90.3 |
| | 問6 | 3 | 226 | 75.6 | 0 | 0.0 | 71 | 23.7 | 2 | 0.7 | 75.6 |
| | 問7 | 4 | 14 | 4.7 | 20 | 6.7 | 142 | 47.5 | 123 | 41.1 | 7.3 |
| 5 | 問1 | 3 | 210 | 70.2 | 0 | 0.0 | 63 | 21.1 | 26 | 8.7 | 70.2 |
| | 問2 | 3 | 151 | 50.5 | 0 | 0.0 | 141 | 47.2 | 7 | 2.3 | 50.5 |
| | 問3 | 6 | 49 | 16.4 | 201 | 67.2 | 18 | 6.0 | 31 | 10.4 | 51.2 |

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

① 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。

No. 1～3 自宅での会話、遠足についての会話、レストランの場所等、日常的な場面での会話を聞いて、絵や地図の中から、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 4、5 美術館の入口にあった掲示を思い出す、父親に誕生日プレゼントを買うといった、日常生活における「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

No. 6 ALTが最後の英語の授業で生徒達に話をしている。その話を聞き取り、内容についての質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 7 次の土曜日の予定について、KentaとEmilyが話している。その会話を聞き取り、内容について英語で答える。

- 2 スタディタイムについてのポスターを英語で作成することを想定し、日本語のメモをもとに、空欄にあてはまる語をそれぞれ書き、ポスターを完成させる。また、スタディタイムへの参加をALTに依頼するメモを完成させる。
- 3 Ryoは、世界で2番目に人口の小さい、ニウエという国に興味をもち、ニウエの人口の変化や産業について調べた。その調べた内容について、クラスで発表している。Ryoはニウエで栽培されている果物や自然について紹介する。この英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る。
- 4 中学生のKento、Mandy、Jiroの会話である。ピクトグラムに関する生徒の話し合いについて、複数のまとまりのある英文を読み、概要や要点、必要な情報を把握し、場面に応じて英語で適切に表現する。
- 5 ALTのスピーチを読んで、スピーチ内容や必要な情報を読み取る。また、スポーツをみることにすることのどちらが好きかについて、2つの条件に従って、3文以上の英語で書く。〔条件〕①として、1文目はスポーツをみることにすることのどちらが好きかを書き、〔条件〕②として、2文目以降はその理由が伝わるように、2文以上で書く。

(3) 所見・解説

- 1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。

No. 1 会話を聞いて、Tomが何をしようとしているのかを示す絵を選ぶ問題である。Tomが、“I’m going to do my homework in my room, so I can’t.”と言っているので、正答はDである。

No. 2 会話を聞いて、明日の遠足に持っていくべきものの絵を選ぶ問題である。Lisaが、“But the weather report says it will rain tomorrow. So we must remember to bring a raincoat.”と言っているので、正答はBである。

No. 3 昼食にレストランに行こうとしている二人の会話を聞いて、どのレストランに行こうとしているのかを選ぶ問題である。“Well, how about going to the restaurant across the street from the temple? I want to eat some Japanese food”と言い、“OK. Let’s go.”と答えているので、正答はAである。

No. 4 美術館にいるJohnが、入口の標示を思い出す場面において、標示に何とあったかを問うものである。「飲食禁止」を表す、Aが正答である。

No. 5 Juliaが父親の誕生日プレゼントによさそうな青いTシャツを見つけたが、サイズが小さいという場面において、Juliaは店員に何と言うかを選ぶ問題である。「より大きいサイズはないか」と尋ねる、Cが正答となる。

No. 6 英語がコミュニケーションに役立つことを説明するALTのMr. Jonesの話の聞き取り、英語の質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題である。

 - (1) 質問は「Mr. Jonesは今なぜ幸せなのか」というものである。“Now, you try to talk to me in English.”と言っていることから、正答はCである。
 - (2) 質問は「京都の神社で観光客がChikaに何をしよう頼んだか」というものである。“When she visited a shrine in Kyoto, a tourist asked her to take a picture in Chinese.”と言っているので、正答はDである。
 - (3) 質問は「Mr. Jonesの話で正しいものはどれか」というものである。“It will help you in the future.”と話していることから、正答はBである。

No. 7 Kentaとアメリカ出身の学生Emilyとの会話を聞き取り、英語の質問に対する答えとなる英文を完成させる問題である。

 - (1) 質問は「Kentaはいつ愛知を去ったのか」というものである。Kentaが“‘But, because of my father’s job, my family left Aichi two years ago.’”と言っているので、正答はtwo yearsとなる。
 - (2) 質問は「KentaとShinjiは何をするか」というものである。Kentaが“‘We will play baseball together in the park.’”と言っているので、正答はplay baseballとなる。
 - (3) 質問は「なぜEmilyは次の土曜日に東京へ行こうとしているのか」というものである。“I have

been looking for some English books about nature in Japan.”と言っているので、正答は nature となる。

「聞くこと」の学習においては、No. 1 のような短めの英語を聞くことから始め、英語を聞き取り、絵や図表等の情報につなげることへの慣れが重要である。No. 4 や No. 5 では、特定の場面・状況において聞き取った内容について、どのような応答がふさわしいのか考えなければならない。No. 6 や No. 7 のようなまとまりのある英語では、概要や要点を正確に把握するために、メモを取るなどの工夫をして、必要な情報を把握し、整理する力を身に付けておく必要がある。

- 2 身近な場面に関する英文を完成させることを通じて、基本的な綴りや語・語句の使い方が定着しているかを見ようとしたものである。また、目的、場面や状況に応じて、英語で表現することができる知識及び技能を見ようとした。

A 「テスト」 test の綴りを問う問題である。短いスペルであり、比較的定着を図りやすい語の一つである。生徒が日常生活の中で慣れ親しんでいる語の確実な定着を図りたい。

B 「金曜日」 Friday の綴りを問う問題である。日常生活で使用頻度の高い語であるため、無答はほとんど見られなかったが、語の発音と綴りが一致していない解答がみられた。月や曜日は音声でも慣れ親しんでいる語であり、それらの語彙の確実な定着を図りたい。

C 「までに」 by の綴りと使い方を問う問題である。until や for とする誤答がみられた。基本的な語彙の使い方について、適切に活用できる知識及び技能を身に付けたい。

D 「勉強したい」 want to study を〔日本語のメモ〕や〔英語のポスター〕をもとに、表現する力をみる問題である。目的や場面、状況に応じて、語だけでなく語句を使って伝えたいことを表現できる力を身に付けたい。

E 〔日本語のメモ〕と英語のメモの内容を理解した上で、与えられた条件に従い、理由を含めて英語で適切に表現する力をみる問題である。「あなたが Yosuke なら、どのようなメモを書きますか」という問いについて、ALT にスタディタイムへの参加をお願いするメモを2文以上の英語で表現する。1文目は Could you に続けて、「Study Time に参加していただけますか」と依頼し、2文目以降は【語群】の中の語を1語のみ使ってその理由を書く。Could you go to Study Time? など、言語材料を適切に表現しきれていないものがみられた。目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを表現できる力を身に付けたい。

- 3 まとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る力と、基本的な語や文法項目が定着しているかを見ようとしたものである。

問1 英文の流れをふまえて、本文中の A ~ C のいずれかに、“So, Niue needed to look for a way to make money, and found it.” という1文を補う問題である。第2段落には、ニウエの人口が減少したことが述べられている。さらに、“Actually, there was not much industry in Niue.”につなげると自然な流れになる C が正答となる。

問2 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英語を答える問題である。下線部は However で始まっているため、「農地と水が足りていないこと」を意味する、A が正答となる。

問3 本文の流れに合うように、単語を正しい順序に並びかえて英文を完成させる問題である。正答は was a country called である。過去分詞の形容詞としての用法を理解していることが求められる。

問4 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。Ryo はニウエについて学んだ後、何をするのが好きかということが問われている。本文中の“I like to look at maps now, after learning about Niue.”から、He (likes to look) at maps. が正答となる。

問5 本文の内容と合う英文を選ぶ問題である。第4段落に、“The people of Niue realized that their country has a lot of nature and it can be used for tourist activities such as hiking in the forest.”とあるので、U が正答となる。

- 4 複数のまとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。

問1 下線部 your question がさす質問の具体的な内容を、日本語で答える問題である。正答例は、「なぜ日本の人々は簡素なピクトグラムを作ったのか。」である。下線部直前の Mandy の発言に“Why did Japanese people make simple pictogram?”とあるので、ここから正答を導き出すことができる。

- 問2 本文[2]の流れに合うように、語句を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答はhad to think of another wayである。[had to 原形]を用いた表現で英文を完成させることができる。
- 問3 本文[2]の内容と合うように、Pictograms were used in the 1964 Tokyo Olympics becauseに続く最も適切なものを選ぶ問題である。本文[2]の4行目から5行目で、Kentoが“In the 1964 Tokyo Olympics, Japanese people needed to communicate with visitors from all over the world, but it was difficult to support visitors in their languages.”と発言していることから、正答はエである。
- 問4 本文[3]の内容に合っている英文を答えさせ、まとまりのある文章の大切な部分を読み取る力をみる問題である。本文[3]の10行目から11行目にある、Kentoの“*There were pictograms in public places before 1964. But each country had different pictograms.*”という説明から、正答はイである。
- 問5 下線部this pictogramのさすものを選ぶ問題である。本文[4]の2行目から3行目にある、Mandyの“*Yes, I have seen it in school. It shows a door that is used to leave the building when there is a fire or an earthquake.*”という発言から、正答はアである。
- 問6 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英文を選ぶ問題である。空欄直前のKentoの“*Have you seen a magnifying glass icon?*”という発言と、空欄直後のJiroの応答から、肯定的な内容が入ることがわかる。よって、正答はエである。
- 問7 自然な会話になるように、空欄に適切な3語以上の英語を書く問題である。空欄までの会話で、「Mandyの作成したスライドがとても良く、ピクトグラムクイズも面白かった」と、Kentoが話していたことから、空欄には「私たちのクラスメートが楽しんでくれるといいな」という内容が入ることが分かる。そのため、正答はclassmates will enjoy等となる。誤答には、[presentation will be interested]等の受動態の構造に関わるものがみられた。

5) まとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る力と、与えられた〔条件〕に従い、まとまった内容の文章を英語で表現できるかをみようとしたものである。

- 問1 「Ms. Moore先生はニュージーランドとオーストラリア()のラグビー国際試合を見た」という意味になるように、英文の空欄にあてはまる英語を1語、本文中から抜き出す問題である。1～2行目に“I watched the rugby match between New Zealand and Australia on TV.”と示されていることから、空欄にあてはまる単語は「(…と)～の間」を表すbetweenであることが分かる。
- 問2 本文の内容と合うものを選ぶ問題である。6～7行目に“It was held in Japan twice.”とあることから、正答はイである。
- 問3 与えられた〔条件〕に従い、基本的な語彙や文法事項を活用して自分の考えを適切に表現する問題である。①には“I like～”に続けて「スポーツをみる」または「スポーツをする」のどちらが好きかを書くことが必要である。②には、①の理由を2文以上で書くことが求められる。
- 誤答には、不定詞や動名詞の使い方、冠詞の扱いや単数・複数の区別がなされていない等、動詞や名詞に関するものがみられた。他の誤答例としては、無用な繰り返しや、②において理由としては不適當なものがみられた。

基本的な語彙や文法事項を含め、適切な表現や構成で英文を書けているかに注意を払いたい。また、自分の考えや理由などが読み手に正しく伝わるように、文のつながりなどに注意して、一貫性のある文章を書く力を身に付けておく必要がある。